

# 介護老人保健施設東住吉すみれ苑短期入所療養介護（介護予防短期入所療養介護）運営規程

## （運営規程設置の主旨）

**第1条** 医療法人社団 董 会 が開設する介護老人保健施設東住吉すみれ苑（以下「当施設」という。）において実施する短期入所療養介護（介護予防短期入所療養介護）の適正な運営を確保するために人員及び管理運営に関する事項を定める。

## （事業の目的）

**第2条** ユニット型指定短期入所療養介護（介護予防短期入所療養介護）は、要介護状態（介護予防短期入所療養介護にあたっては要支援状態）にあり、居宅における生活に一時的に支障が生じた高齢者（以下「利用者」という。）に対し看護、医学的管理の下における介護および機能訓練その他必要な医療並びに日常生活上の世話をを行い、利用者の療養生活の質及び利用者家族の身体的及び精神的負担の軽減を図ることを目的とする。

## （運営の方針）

**第3条** 当施設では、利用者一人一人の意志及び人格を尊重し、短期入所療養介護（介護予防短期入所療養介護）計画に基づいて、利用前後の生活が連続したものとなるように配慮しながら、各ユニットにおいて利用者が相互に社会的関係を築き、自律的な日常生活を営むことを支援する。また、医学的管理の下におけるリハビリテーション、看護、介護その他日常的に必要なとされる医療並びに日常生活上の世話をを行い、利用者の身体機能の維持向上を目指すとともに、利用者の家族の身体的及び精神的負担の軽減を図り、利用者が1日でも長く居宅での生活を維持できるよう在宅ケアの支援に努める。

- 2 当施設では、利用者の意思及び人格を尊重し、自傷他害の恐れがある等緊急やむを得ない場合以外、原則として利用者に対し身体拘束を行なわない。
- 3 当施設では、地域の中核施設となるべく、居宅介護支援事業者（介護予防支援事業者）、その他保健医療福祉サービス提供者及び関係市区町村と綿密な連携をはかり、利用者が地域において統合的サービス提供を受けることができるよう努める。
- 4 当施設では、明るく家庭的雰囲気重視し、利用者が「にこやか」で「個性豊か」に過ごすことができるようサービス提供に努める。
- 5 サービス提供にあたっては、懇切丁寧を旨とし、入所者又はその家族に対して療養上必要な事項について、理解しやすいように指導又は説明を行うとともに利用者の同意を得て実施するよう努める。
- 6 利用者の個人情報保護は、個人情報保護法に基づく厚生労働省のガイドラインに則り、当施設が得た利用者の個人情報については、当施設での介護サービスの提供にかかる以外の利用は原則的に行わないものとし、外部への情報提供については、必要に応じて利用者またはその代理人の了解を得ることとする。

## （施設の名称及び所在地等）

**第4条** 当施設の名称所在地等は次のとおりとする。

- (1) 施設名 介護老人保健施設 東住吉すみれ苑
- (2) 開設年月日 平成30年6月1日
- (3) 所在地 大阪府大阪市東住吉区矢田1丁目23-6
- (4) 電話番号 06-6693-6999 F A X 番号 06-6693-7999
- (5) 管理者名 伊東 了
- (6) 介護保険指定番号 介護老人保健施設 (2750880102号)

### (従業者の職種、員数)

**第5条** 当施設の従事者の職種、員数は次のとおりであり、必置職については法令及び大阪市条例の定めるところによる。

- |      |         |       |
|------|---------|-------|
| (1)  | 管理者(医師) | 1人以上  |
| (2)  | 医師      | 1人以上  |
| (3)  | 看護職員    | 10人以上 |
| (4)  | 介護職員    | 24人以上 |
| (5)  | 支援相談員   | 1人以上  |
| (6)  | 栄養士     | 1人以上  |
| (7)  | 理学療法士等  | 3人以上  |
| (8)  | 薬剤師     | 1人以上  |
| (9)  | 介護支援専門員 | 1人以上  |
| (10) | 事務職員    | 4人以上  |

### (従業者の職務内容)

**第6条** 前条に定める当施設職員の職務内容は、次のとおりとする。

- (1) 管理者は、介護老人保健施設に携わる従業者の総括管理、指導を行う。
- (2) 医師は利用者の病状及び心身の状況に応じて、日常的な医学的対応を行う。
- (3) 看護職員は、医師の指示に基づき投薬、検温、血圧測定等の医療行為を行うほか、利用者の短期入所療養介護（介護予防短期入所療養介護）計画に基づく看護を行う。
- (4) 介護職員は、利用者の短期入所療養介護（介護予防短期入所療養介護）計画及びリハビリテーション計画に基づく介護を行う。
- (5) 支援相談員は、利用者及びその家族からの相談に適切に応じるとともに、レクリエーション等の計画、指導を行い、市町村との連携をはかるほか、ボランティアの指導を行う。
- (6) 管理栄養士及び栄養士は、利用者の栄養管理、栄養ケア・マネジメント等の栄養状態の管理を行う。
- (7) 理学療法士・作業療法士・言語聴覚士は医師や看護師等と共同して、リハビリテーション実施計画書を作成するとともにリハビリテーションの実施に際し指導を行う。
- (8) 薬剤師は、医師の指示に基づき調剤を行い、施設で保管する薬剤を管理するほか、利用者に対して服薬指導を行う。
- (9) 介護支援専門員は、利用者の施設サービス計画の原案をたてるとともに、利用者の心身状態を把握して支援を行う。
- (10) 事務職員は、介護報酬請求、経理事務などを行う。

### (短期入所療養介護の内容)

**第7条** 短期入所療養介護（介護予防短期入所療養介護）の内容は利用者の病状及び心身の状況に照らして行う適切な医療及び医学的管理の下における看護、入浴、排せつ、食事等の介護、その他日常生活上の世話、食事の提供、機能訓練、健康管理、療養上の世話、相談及び援助、趣味、教養又は娯楽に係る活動の提供並びに送迎とし、サービスの提供に当たっては次の点に留意する。

- (1) 短期入所療養介護（介護予防短期入所療養介護）の提供に当たっては利用者の要介護状態（介護予防短期入所療養介護にあたっては要支援状態）の軽減又は悪化の防止に資するよう、利用者の心身の状況を踏まえ、利用者が日常生活を営むのに必要な援助を行うものとする。
- (2) 短期入所療養介護（介護予防短期入所療養介護）の提供に当たっては居宅介護支援事業者と連携を図ること等により利用者の心身の状況を把握し、これらを踏まえ、また相当期間以上に期間以上にわたり継続して入所することが予定される利用者については、サービス目標及び当該目標を達成するための具体的なサービス内容を記載した短期入所療養介護計

画（介護予防短期入所療養介護計画）を作成し、漫然かつ画一的なものにならないよう配慮して行うものとする。また利用者がその有する能力を最大限活用することができるような方法によるサービスの提供に努めるとともに、利用者とのコミュニケーションを十分に図ることその他の様々な方法により、利用者の主体的な活動参加を促すような働きかけに努めるものとする。

#### （利用者負担の額）

**第8条** 利用者負担の額を以下のとおりとする。

- （1） 保険給付の自己負担額を、別に定める料金表により支払いを受ける。
- （2） 利用料として、居住費（滞在費）、食費、行事参加費、理美容代、私物の洗濯代、通常送迎の実施区域外の場合は送迎費、その他の費用等利用料を、別に定める利用料金表により支払いを受ける。

#### （通常の送迎の実施地域）

**第9条** 通常の送迎の実施地域を以下のとおりとする。

東住吉区（全域）・住吉区・平野区・阿倍野区（一部地域を除く）

#### （身体拘束等）

**第10条** 当施設は、原則として利用者に対し身体拘束を行わない。但し、当該利用者または他の利用者等の生命または身体を保護するため等緊急やむを得なく身体拘束を行う場合、当施設の医師がその様態及び時間、その際の利用者の心身の状況、緊急やむを得なかった理由を診療録に記載する。

- 2 当施設は、利用者の人権の擁護、虐待の防止等のため、責任者を設置する等必要な体制の整備を行うとともに、従事者に対し、研修の機会を確保します。

#### （褥瘡対策等）

**第11条** 当施設は、利用者に対し良質なサービスを提供する取り組みのひとつとして、褥瘡が発生しないような適切な介護に努めるとともに、褥瘡対策指針を定め、その発生を防止するための体制を整備する。

#### （施設の利用に当たっての留意事項）

**第12条** 当施設の利用に当たっての留意事項を以下のとおりとする。

- ① 施設利用中の食事は、特段の事情がない限り施設の提供する食事を摂取していただくこととする。食費は第8条に利用料として規定されるものであるが、同時に施設は第7条の規定に基づき利用者の心身の状態に影響を与える栄養状態の管理をサービス内容としているため、食事内容を管理、決定できる権限を委任いただくこととする。
- ② 面会時間は午前9時から午後5時30分とする。
- ③ 消灯時間は、午後9時とする。
- ④ 外出は事前に届け出るものとする。
- ⑤ 飲酒・喫煙は禁止する。
- ⑥ 火気の取り扱いは、厳禁する。
- ⑦ 設備・備品の利用は、届け出るものとする。
- ⑧ 所持品・備品等の持ち込みは相談により決定する。金銭・貴重品は持ち込まない。
- ⑨ 宗教活動は他の方のご迷惑にならないことを原則とする。
- ⑩ ペットの持ち込みは、禁止する。
- ⑪ 利用者の「営利行為、宗教の勧誘、特定の政治活動」は、禁止する。
- ⑫ 他利用者への迷惑行為は禁止する。

### (非常災害対策)

**第13条** 消防法施行規則第3条に規定する消防計画及び風水害、地震等の災害に対処する計画に基づき、また、消防法第8条に規定する防火管理者を設置して非常災害対策を行う。

- (1) 防火管理者には、当事業所職員を充てる。
- (2) 火元責任者には、当事業所職員を充てる。
- (3) 非常災害用の設備点検は、契約保守業者に依頼する。点検の際は、防火管理者が立ち会う。
- (4) 非常災害設備は、常に有効に保持するよう努める。
- (5) 火災の発生や地震が発生した場合は、被害を最小限にとどめるため、自衛消防隊を編成し、任務の遂行に当たる。
- (6) 防火管理者は、従業員に対して防火教育、消防訓練を実施する。
  - ① 防火教育及び基本訓練（消火・通報・避難）・・・・・・・・年2回以上  
(うち1回は夜間を想定した訓練を行う。)
  - ② 利用者を含めた総合避難訓練・・・・・・・・年1回以上
  - ③ 非常災害用設備の使用法の徹底・・・・・・・・随時
- (7) 非常災害の発生の際にその事業者が継続できるよう、他の社会福祉施設との連携および協力を行う体制を構築するよう努めます。  
その他必要な災害防止対策についても必要に応じて対処する体制をとる。

### (事故発生の防止及び発生時の対応)

**第14条** 当施設は、安全かつ適切に、質の高い介護・医療サービスを提供するために、事故発生の防止のための指針を定め、介護・医療事故を防止するための体制を整備する。また、サービス提供等に事故が発生した場合、当施設は、利用者に対し必要な措置を行う。

2 施設医師の医学的判断により、専門的な医学的対応が必要と判断した場合、協力医療機関、協力歯科医療機関又は他の専門的機関での診療を依頼する。

### (要望及び苦情等の相談)

**第15条** 当施設には支援相談の専門員として、支援相談員もしくは介護支援専門員を配置しており、利用者及びその家族からの相談を受ける。(電話 06-6693-6999 )  
要望や苦情などは、担当者に連絡を頂き、速やかに対応する。「ご意見箱」も備え付け、管理者に直接意見を伝える手段を確保する。

### (職員の服務規律)

**第16条** 職員は介護保険関係法令及び諸規則、個人情報保護法を遵守し、業務上の指示命令に従い、自己の業務に専念する。服務に当たっては、協力して施設の秩序を維持し、常に次の事項に留意すること。

- (1) 入所者や通所者に対しては、人格を尊重し親切丁寧を旨とし、責任をもって接遇すること。
- (2) 常に健康に留意し、明朗な態度を失ってはならない。
- (3) お互いに協力し合い、能率の向上に努力するよう心掛けること。

### (職員の質の確保)

**第17条** 施設職員の資質向上のために、その研修の機会を確保する。

**(職員の勤務条件)**

**第18条** 職員の就業に関する事項は、別に定める医療法人社団董会介護老人保健施設東住吉すみれ苑の就業規則による。

**(職員の健康管理)**

**第19条** 職員はこの施設が行う年1回の健康診断を受診すること。ただし、夜勤勤務に従事する者は、年2回の健康診断を受診しなければならない。

**(衛生管理)**

**第20条** 入所者の使用する施設、食器その他の設備又は飲用に供する水について衛生的な管理に務め、又は衛生上必要な措置を講ずるとともに、医薬品及び医療用具の管理を適正に行う。

- 2 感染症が発生し又はまん延しないように、感染症及び食中毒の予防及びまん延の防止のための指針を定め、必要な措置を講ずるための体制を整備する。
- 3 栄養士、調理師等厨房勤務者は、毎月1回検便を行わなければならない。
- 4 定期的に鼠族、昆虫の駆除を行う。

**(守秘義務及び個人情報の保護)**

**第21条** 施設職員に対して、施設職員である期間および施設職員でなくなった後においても、正当な理由が無く、その業務上知り得た利用者又はその家族の個人情報を漏らすことがないように指導教育を適時行うほか、施設職員等が本規定に反した場合は、違約金を求めるものとする。

**(その他運営に関する重要事項)**

**第22条** 地震等非常災害その他やむを得ない事情の有る場合を除き、利用定員及び居室の定員を超えて入居させない。

- 2 運営規程の概要、施設職員の勤務体制、協力病院、利用者負担の額及び苦情処理の対応、プライバシーポリシーについては、施設内に掲示する。
- 3 短期入所療養介護（介護予防短期入所療養介護）に関連する政省令及び通知並びに本運営規程に定めのない運営に関する重要事項については、医療法人社団董会介護老人保健施設東住吉すみれ苑の役員会において定めるものとする。

付 則

この運営規程は、令和6年4月1日より施行する。

短期入所療養介護利用金額表

令和6年8月～

☆基本サービス

地域区分 10.72 円

大阪市 地域区分【2級地】

〔ユニット型個室 i〕

要介護度	自己負担額（1日）
要介護 1	897（2割 1,793、3割 2,689）円
要介護 2	947（2割 1,893、3割 2,840）円
要介護 3	1,017（2割 2,033、3割 3,049）円
要介護 4	1,076（2割 2,151、3割 3,226）円
要介護 5	1,132（2割 2,264、3割 3,396）円

大阪市 地域区分【2級地】

〔ユニット型個室 ii〕

要介護度	自己負担額（1日）
要介護 1	972（2割 1,943、3割 2,914）円
要介護 2	1,054（2割 2,108、3割 3,162）円
要介護 3	1,124（2割 2,247、3割 3,371）円
要介護 4	1,186（2割 2,372、3割 3,557）円
要介護 5	1,249（2割 2,498、3割 3,747）円

☆加算

個別リハビリテーション実施加算	1日	258（2割 516、3割 772）円
療養食加算	1回	9（2割 18、3割 26）円
夜勤職員配置加算	1日	26（2割 52、3割 78）円
送迎加算	片道	198（2割 395、3割 592）円
口腔連携強化加算	1回	54（2割 108、3割 161）円
サービス提供体制強化加算Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ	1日	（Ⅰ） 24（2割 48、3割 72）円
		（Ⅱ） 20（2割 40、3割 60）円
		（Ⅲ） 7（2割 13、3割 20）円
在宅復帰療養支援加算Ⅰ	1日	37（2割 73、3割 110）円
在宅復帰療養支援加算Ⅱ	1日	49（2割 98、3割 147）円
介護職員等処遇改善加算Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ		所定単位数による

◇食費及び居住費 ※介護保険負担限度額認定証をお持ちの方は、限度額範囲になります。

利用者負担段階	食費（1日につき）	居住費（1日につき）
第1段階	300円	880円
第2段階	390円	880円
第3段階	650円	1,370円
第3段階②	1,360円	1,370円
第4段階	1,530円	2,550円

☆その他のサービス

◇行事参加費	実費負担	（参加者のみ）
◇コピー代	A4 1枚	10円
◇電気製品使用料	1日	55円（3品まで）

☆サービス以外の利用費

◇理美容代	実費負担	(希望者のみ)
◇洗濯委託料	実費負担	(希望者のみ)

介護予防短期入所療養介護利用金額表

令和6年8月～  
地域区分 10.72円

☆基本サービス

大阪市 地域区分【2級地】

[ユニット型個室 i]

要介護度	自己負担額(1日)
要支援 1	666 (2割 1,332、3割 1,998) 円
要支援 2	839 (2割 1,678、3割 2,517) 円

[ユニット型個室 ii]

要介護度	自己負担額(1日)
要支援 1	714 (2割 1,428、3割 2,142) 円
要支援 2	888 (2割 1,776、3割 2,664) 円

個別リハビリテーション実施加算	1日	258 (2割 515、3割 772) 円
療養食加算	1回	9 (2割 18、3割 26) 円
夜勤職員配置加算	1日	26 (2割 52、3割 78) 円
送迎加算	片道	198 (2割 395、3割 592) 円
サービス提供体制強化加算 I・II・III	1日 (I)	24 (2割 48、3割 72) 円
	(II)	20 (2割 40、3割 60) 円
	(III)	7 (2割 13、3割 20) 円
在宅復帰療養支援加算 I	1日	37 (2割 73、3割 110) 円
在宅復帰療養支援加算 II	1日	49 (2割 98、3割 147) 円
介護職員等処遇改善加算 I・II・III・IV		所定単位数による

◇食費及び居住費 ※介護保険負担限度額認定証をお持ちの方は、限度額範囲になります。

利用者負担段階	食費(1日につき)	居住費(1日につき)
第1段階	300円	880円
第2段階	390円	880円
第3段階	650円	1,370円
第3段階②	1,360円	1,370円
第4段階	1,530円	2,550円

☆その他のサービス

◇行事参加費	実費負担	(参加者のみ)
◇コピー代	A4 1枚	10円
◇電気製品使用料	1日	55円 (3品まで)

☆サービス以外の利用費

◇理美容代	実費負担	(希望者のみ)
◇洗濯委託料	実費負担	(希望者のみ)

平成 30 年 6 月 1 日 作成  
平成 30 年 8 月 1 日 改訂  
令和 元年 7 月 1 日 改訂  
令和 元年 8 月 1 日 改訂  
令和 元年 10 月 1 日 改訂  
令和 2 年 12 月 1 日 改訂  
令和 3 年 4 月 1 日 改訂  
令和 4 年 2 月 1 日 改訂  
令和 4 年 10 月 14 日 改訂  
令和 5 年 4 月 4 日 改訂  
令和 6 年 1 月 1 日 改訂  
令和 6 年 4 月 1 日 改訂  
令和 6 年 8 月 1 日 改訂